

トリプケースソイブイオン(SCD ブイオン)(TSB-ST) *For microbiological control only*

Trypcase Soy broth(TSB-ST)
メンブランフィルター法による無菌試験用

用途

本培地は無菌試験用として各種薬局方で推奨されています。メンブランフィルター法による無菌試験用培地として、ヨーロッパ、米国および日本薬局方に準拠しています(1,2,3)。

原理

本培地はペプトン混合物を含み、ほとんどの栄養要求性の厳しくない細菌の発育を促進します。

キット構成

調製済み培地		
REF 44011	ボトル培地	12 本(100mL)

組成

カゼインペプトン(ウシ)	17g
ソイペプトン	3 g
塩化ナトリウム	5 g
リン酸二カリウム.....	2.5 g
ブドウ糖	2.5 g
精製水	1L
pH7.3	

必要な試薬または器材

試薬

- リンス溶液 (Fluid A: Ref. 42044 または 42616)
- リンス溶液 (D 液) (Fluid D: Ref. 42624)
- チオグリコレートブイオン (Ref. 44001)

器材

- ふ卵器

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者のみご使用下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分ご注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 検体、培養物などは全て感染の可能性があるものとして取り扱いには充分ご注意下さい。安全ガイドライン: “CLSI® M-29A, *Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline – Current revision*” 操作留意事項”Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH – Latest edition”または各国の最新のガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミしている培地は使用しないで下さい。
- ヨーロッパ薬局方によると、培地は Class A 環境下 (Class B の環境中に設置されている)、あるいはアイソレーターで扱う必要があります。
- ボトルの外側は無菌ではありません。以下の点にご注

意下さい。

- メンブランフィルター法による無菌試験の際には: ボトルの透明な蓋の内側に、灰色のストッパー(注射器で突き刺すことができます)がついています。透明な蓋は密閉できるものではありません。したがって、注射器を突き刺す前にストッパーを消毒する必要があります:
 - 蓋をはずし、灰色のストッパーを消毒剤に浸した滅菌ガーゼで消毒して下さい。
 - 乾燥させます。
 - お持ちの濾過器の取り扱い方法に従って下さい。
- 直接法に用いる際には: ボトル内部は培地の安定性を保つため陰圧になっています。ボトルの外側は無菌ではなく、ボトルキャップを緩めると周辺空気が吸い込まれコンタミを生じる可能性があります。ボトルキャップを緩める前に、コントロールされた環境下でボトル全体を丁寧に消毒して下さい。透明な蓋をはずし、灰色のストッパーを消毒します(上記の方法を参照)。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵法

箱未開封の状態で、2-25°C下で有効期限まで保管可能です(冷凍厳禁)。

検体

検体の調製については、薬局方に記載の方法に従って下さい。

使用法

メンブランフィルター法による無菌試験:

国際調和薬局方に記載されている方法:

1. 各メンブランで、少量のリンス溶液 (Fluid A あるいは Fluid D)を濾過します。
2. 検体を2つに分け、それぞれ別のメンブランで濾過します。濾過する量は検体によります。
3. 各々のメンブランを100mLのリンス溶液で洗い流します。洗い流す回数は検体によります。
4. 一方のメンブラン上に100mLのトリプケースソイブイオンを、もう一方のメンブラン上に100mLのチオグリコレートブイオン(レザズリン添加)を注ぎます。
5. 14日間以上培養します。
 - トリプケースソイブイオンは 20-25°C
 - チオグリコレートブイオン(レザズリン添加)は 30-35°C

直接法:

薬局方に記載されている方法に従って下さい。

菌株がブイオンに接種され培養された場合は、本培地は、滅菌通気器具を用いて通気を行う必要があります。

判定

薬局方に従って下さい。

培養後菌の増殖(通常培地が濁ります)を確認して下さい。

品質管理

本培地は厳格な品質への要望を満たすよう開発・製造されています。

各ロットの品質管理における菌株試験結果は試験成績書に記載されています(ご要望により提供致します)。

留意事項

- 微生物の増殖度合いは各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性(基質、温度、培養条件等)を有する菌株は発育しないこともありえます。
- 様々な検体を用い評価していますが、用途に応じて培地を再評価されることをお勧めします。

廃棄処理

未使用の試薬は、非感染性の廃棄物として通常の方法で廃棄してください。使用済みの試薬は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って廃棄して下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

1. European Pharmacopoeia 7.
2. USP 34.
3. Japanese Pharmacopoeia 15.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2669(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号

大崎セントラルタワー8階

bioMérieux SA

69280 Marcy-l'Etoile / France

Tel. (33) 04 78 87 20 00 / Fax (33) 04 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>